

言語文化学科		特任教授	P.ラゴ	大学院の授業担当 無
教育活動				
教育実践上の主な業績		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1	外国語科目に関して	2019～	これらの授業では、情意的要因が非常に重要な要素となる。教員はリラックスした雰囲気を作り出して、学生が心置きなく自由に自分の言いたいことを表現できるように不安の度合いを下げようとする。また学生の動機づけを高め、学習の効率を上げるためにそれぞれのニーズも重要視される。	
2	講義科目(小規模)に関して	2019～	本授業は、学生自らが観察し、熟考することを主要目的とする。教師は様々なテーマを取り上げ、学生諸君は個人、またはグループで各テーマの内容について省察することが求められる。同じく、教師の助けや方向性を受けながらも、授業で提起された問題を観察を通して学生自身で解決することが求められる。	
3				
2 作成した教科書、教材、参考書				
1	スペイン語会話の基本教材	2019～	コミュニケーションに必要な表現とそれに関する語彙を教材の中で提示しながら、練習問題は形式的な操作だけではなく実生活に関連付けています。	
2				
3				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
1				
2				
3				
4 その他教育活動上特記すべき事項				
1				
2				
3				
学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)				
年月日		活動内容		
1999から現在に至る		日本イスペインア学会会員		
2004から現代に至る□		ASELE (Asociación para la Enseñanza del Español como Lengua Extranjera)会員□		
2006から現在に至る		ASELE の日本の代表委員		
2006から現在に至る		スペイン語教育研究会-Grupo de Investigación de la Didáctica del Español (GIDE)		
その他				